

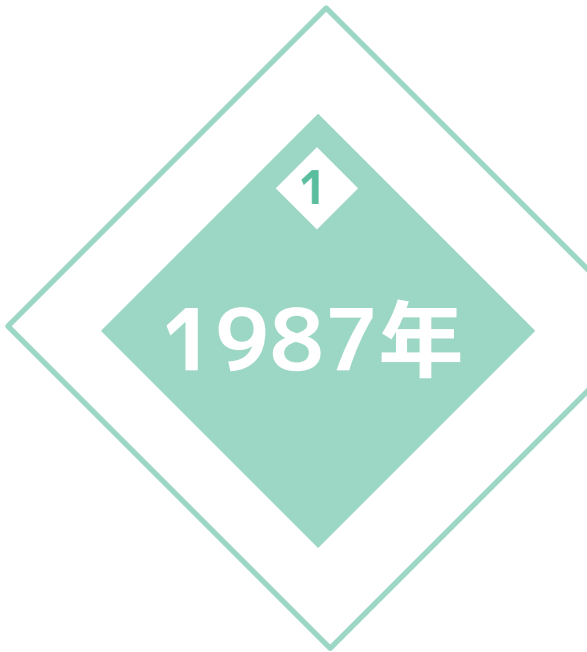
成長·進行

DV預防

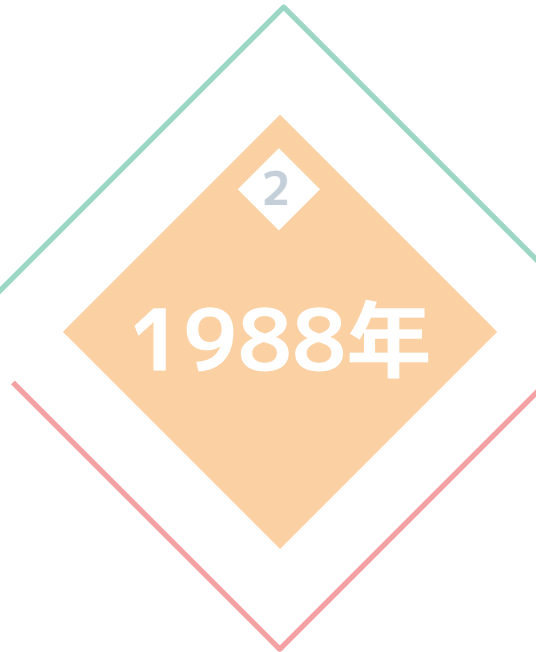
- 過去、現在、未來 -

草創期(1989以前)

参考資料：衛生福利部《台湾家庭暴力防止大事紀(二版)》



- 台湾では初めての結婚暴力に関するモノグラフが出版された。劉可屏が《妻を虐待する問題》を発表した。
- 初めての民間組織による設立されたシェルター—善牧社会福利基金会「徳蓮の家」
- 民間女性福祉団体次々と設立：現代婦女基金会、婦女救援社会福利事業基金会、天主善牧社会福利基金会、婦女新知福利基金会、ガーデンオブホープ基金会。



- 台北は全国初の女性福祉サービスセンターを設立した。「北区女性福祉サービスセンター」



- 女性学習と男性成長の世論が高まり—台北市は「女性社会大学と男性学院」を設立した。
- 台湾初の女性支援ホットラインが設立された。「台北カーネーションホットライン：02-561-9595」
- 台湾南部の女性保護の始まり—高雄市「女性福利ワーキンググループ」。
- 政府はNGOと連携し、女性権利の侵害問題を注目し、「不幸女性支援金制度」を策定した。



01

台湾におけるDV予防の歴史と沿革

萌芽期(1990年~1997年)

1990

- 台北の公的（政府）部門と私的部門は女性のために緊急庇護支援サービスを開始した。

1991

- 台北市政府は女性の保護のための補助金を提供し始めた。
- 米国DVにおけるクロスファンクショナルチームの概念を持ち込んできた。

1992

- 全国初、政府が設立し、民間団体は運営する女性のシェルター-台北市「安心家園」。
- 台湾南部で初の女性サービスネットワークが設立-「高雄市女性福祉サービスセンター」。

1993

- 配偶者DV危機管理センターを初めて設立された。
- 「鄧○雯事件」のきっかけで、配偶者DV問題は台湾社会に重大な懸念を引き起こした。

萌芽期(1990年~1997年)



1995

- 初版の《DV法》が発表された。
- 台湾初の母子保護ホットラインが設置された「080-422-110」。



1996

- 台北市は「女性に対する暴力撤廃の国際デー」に応じて、初めて「配偶者DV啓発週」を開催した。
- 台北市は「台北女性権利苦情相談センター」を設立し、NGOに運営してもらった。



1997

- 台北市は「24時間保護センター」を設立した。
- 高雄市初の24 小时女性保護フリーダイヤを設置された「080-008-585」。
- 《DV防止法（草案）》は立法院に提出し、審議された。

法制期(1998年~2008年)

1999年

- 中央政府は、省庁間の調整のために「家庭内暴力防止委員会」を設立した。
- 各直轄市及び各縣市は「DV及び性的暴行防止センター」を設立した。
- 民事の保護命令制度を実施する。
- 全国の警察署にDV防止担当官が配置されることになった。
- 《DV加害者処遇プログラムの規範》を策定した。
- 未成年女子の面会場所を設置した。
- 「行政院労働委員会の職業訓練局によるDV事件の処理マニュアル」を策定した。
- 法務省は「法務省による女性と子女の司法保護を強化する計画」を発表した。

2001年

- 「台湾暴動防止連盟」の前身→「DV防止及び法律改正連盟」が設立された。
- 母子保護ホットラインを設置した。
- 内務省は、国民の意識と教育を強化するために、初の微電影《100センチの世界》を制作した。
- 検察官は、飭回（釈放）と「交保」（保釈）の加害者に関する連絡メカニズムを確立した。
- 地方裁判所で初のDV事件サービス事務所が設立された。
- 政府は原住民のDV問題を注目し始めた。



1998年

- 台北市は女性団体に女性支援センターの設置と個別案件の支援を委託しました。
- アジア初の「DV法」が正式に発表されました。

2000年

- 警政署（警察庁）は、女性と子供のための中央及び地方の保護ネットワークを設置しました。
- 夫婦間暴力をテーマとした初のドキュメンタリー《勇氣》が発表されました。

2002年

- 女性警察隊から女性及び児童警察隊へ改名しました。

法制期(1998年~2008年)



2003年

- 外国人配偶者保護電話相談窓口を設置した。
「0800-088-885」
- 初めてDV及び性的暴行の防止に貢献した方々を表彰する。



2004年

- 男性無料電話相談窓口を設置した。
「0800-013-999」
- 第一回質の高いニュースコンペティションを開催した。
- 中央政府は町内会でのDV防止メカニズムの確立を推進する。



2005年

- 中央政府は原住民のDV問題を注目し始めた。
- 婦幼警察隊は犯罪捜査の人員が増やされた。
- 教育省（文部省）は、「DV及び性的暴行を受けた学生（幼稚園の児童・少年を含む）の保護に関する注意事項と通報手続き」を規定した。



2006年

- 中央政府は地方自治体に助成金を支給し、生活保護ソーシャルワーカーを雇用することになった。
- 女性被害者がDVでPTSDになったことは裁判の考慮事項としてみなされる様になった。



2007年

- 《DV法》の改正が発表された。
- 全国の警察署（交番）に「DV防止担当官」が設置された。
- 《DV被害者起業融資の措置》が策定された。



2008年

- 「DV相対者予防プログラム」を推進する。

深耕期(2009年~)

2009

- 《犯罪被害者保護法》は、保護措置の対象としてDV被害者を追加した。
- 内務省は「DVセーフティネットワーク計画」を策定した。

2010

- ソーシャルワーカーの専門手当を増やす。

2011

- 「台湾親密関係暴力危険評価表（TIPVDA）」を全面的に推進する。
- 法務省矯正局は、DV加害者専用刑務所を10ヶ所に設立した。
- 《警察機関女性及び児童DV対応マニュアルと案件集》を公布した。
- 《住宅法》には、DVや性的暴行の被害者とその児童が経済的弱者として定められ、居住権が保証されている。

2012

- 《DVと性的暴行の被害者就職補助金の概要》を策定した。
- 町内会でのDV防止アイデアコンペティションー「街坊出招」を初めて開催した。

2013

- DV法に基づく中央管機関の権限と責任は、衛生福利部（厚生省）へ変更された。

深耕期(2009年~)

2014

- 中央政府は女性及び児童に関する警察業務を担当する組織階層をアップグレードした。また、地方DV防止官は支局DV防止チームへ異動した。
- 衛生福利部（厚生省）は、「各直轄市、県（市）におけるDV目撃児童のカウンセリングに関する規則」を策定し、「社会政策と教育」においてDV目撃児童のための連携メカニズムを確立する。
- 第一回パープルリボン賞の受賞式を開催した。

2015

- 《DV法》第6改正が発表された。
- 被害者を中心とするワンストップサービスの提供を推進する。
- 《雇用サービス法》第24条の改正により、DV被害者が雇用促進の対象として追加された。
- 《DV被害者雇用サービスの措置》を策定した。

2016

- 台湾は初めて「台湾女性の親密関係によるDVに関する統計調査」を完了した。
- 「DV加害者の処遇に関する規則」の改正に関しまして発表した。
- DV及び性的暴行防止基金を設立した。

2017

- 教育省は校内暴力の防止と管理を促進するために、「校内暴力の取り扱いに関するマニュアル」を作成した。

2018

- 行政院は、社会セーフティネットを強化する計画を可決した。
- DV被害者のために多様なシエルター資源配分計画を作成する。

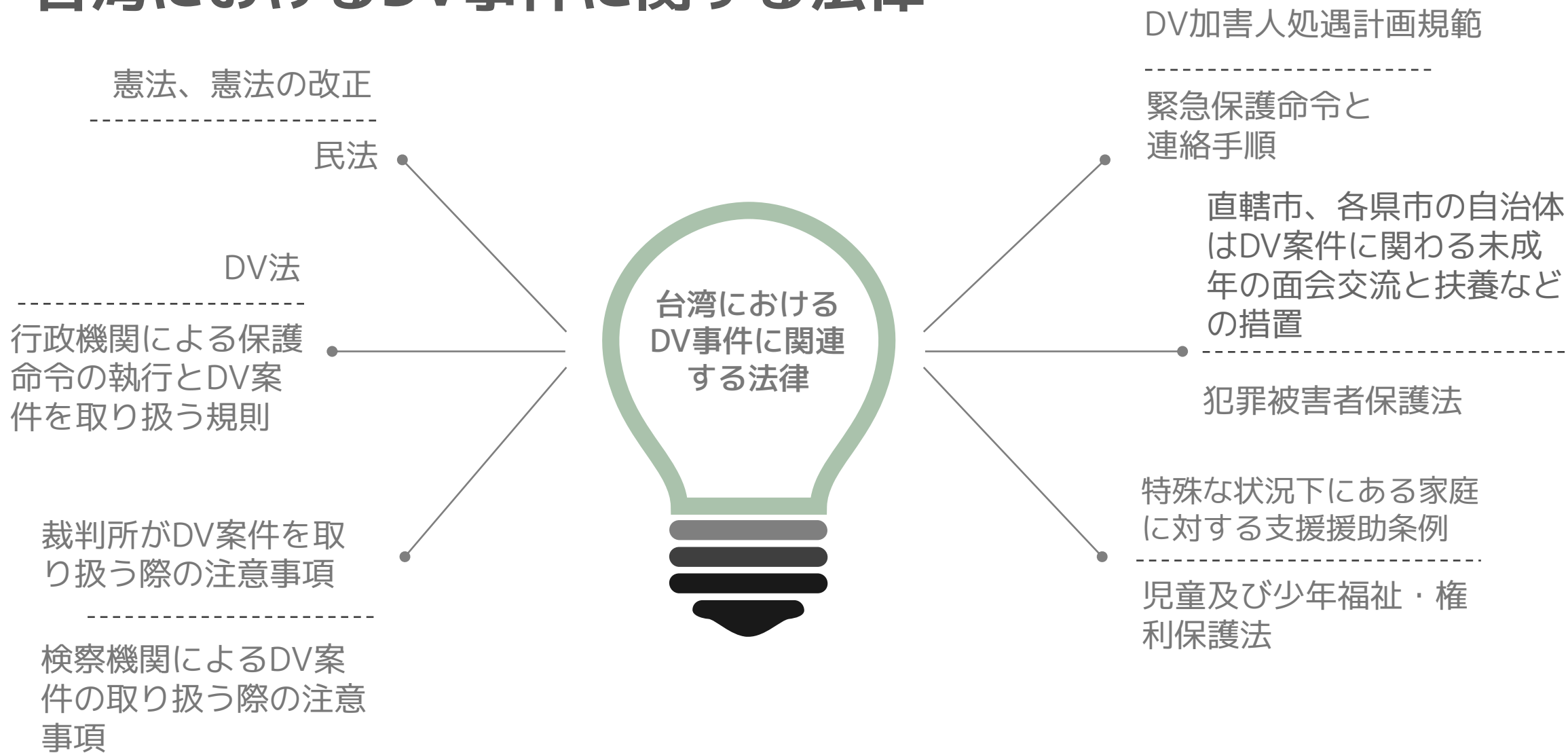


02

DVに関する法律及び規制



台湾におけるDV事件に関する法律





03

政府の権限と支援の提供

中央主管機関の権力と責任

参考資料：DV法

- 01 家庭内暴力防止に関する法規と政策の制定。
- 02 家庭内暴力防止に関する事項の執行に対する調整及び指導。
- 03 家庭内暴力防止の機構が提供するサービスの効率を向上する。
- 04 家庭内暴力防止の教育の指導及び推進。
- 05 被害者保護の計画及び加害者の処遇計画の調整。

- 06 公立、私立の機構における処理の手続きの構築の支援。
- 07 家庭内暴力データベースの構築、管理を統括し、裁判官、検察官、警察官、医者、看護師、心理士、社会福祉従業者及び他の公的機関の利用を提供し、被害者の情報を保護すること。
- 08 地方政府における家庭内暴力防止に関する業務の推進を支援し、助言及び補助を提供すること。
- 09 4年ごとに家庭内暴力の問題、防止の成果及び需要の調査分析を行い、定期的に家庭内暴力による死亡者数、各補助項目及び医療救助の支出などに関する統計の情報を公表する。各関連機関も調査を協力し、統計及び分析の情報を提供すべきである。

各主管機関の権力と責任

参考資料：DV法

衛生主管機関

家庭内暴力被害者の診断、証拠の採取、心身の治療、相談及び加害者の処遇などに関する事項。

衛生

教育主管機関

家庭内暴力被害者の診断、証拠の採取、心身の治療、相談及び加害者の処遇などに関する事項。

教育

労働主管機関

家庭内暴力の被害者の職業訓練及び就職活動などに関する事項。

労働者

警政主管機関

家庭内暴力の被害者及びその未成年の子の安全に関する保護及び緊急な対応、家庭内暴力犯罪の捜査及び刑事事件に関するデータの統計などに関する事項。

警政

法務主管機関

家庭内暴力犯罪の捜査、矯正及び再犯の防止などに関する刑事司法の事項。

法務

各主管機関の権力と責任

参考資料：DV法

移民主管機関

入籍する前に、外国、中国また港澳（香港とマカオ）の配偶者が、家庭内暴力により期間外の滞在及び台湾における滞在又は居住の権利の保護などに関する事項。

文化主管機関

出版品がこの法律に違反する場合の取り扱いなどに関する事項。

通信伝達主管機関

ラジオ、テレビ及びその他の通信伝達媒体がこの法律に違反する場合の取り扱いなどに関する事項。

戸政主管機関

家庭内暴力の被害者及びその未成年の子の身分に関する情報及び戸籍などの事項。

移民

文化

通信伝達

戸政

DV防止及び性的暴力防止の基金を設立する

参考資料：DV法

中央主管機関は、DV及び性犯罪に関する業務を推進するために、基金を設立しなければならない。その資金の収支及び運用方法は、行政院により制定する。基金の収入は、次のようになる。

政府の
予算から
充てる

執行猶予に
よる処分金

司法取引
による
費用

この基金
による利
息の収入

寄付
による
収入

この法律
による
罰金

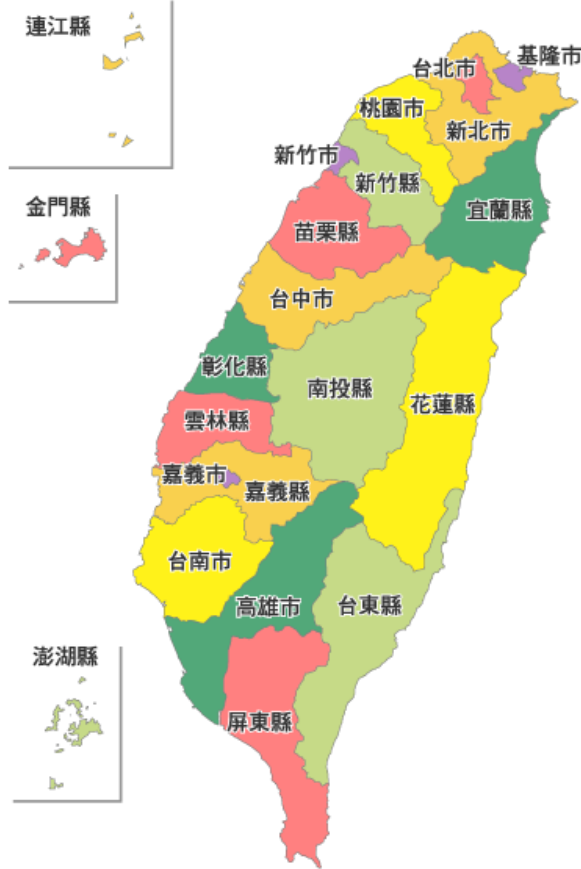
その他の
関連する
収入



04

非政府組織（NGO）の参加

NGOの参加



台北、新北、宜蘭、桃園、新竹、
苗栗、台中、南投、彰化、雲林、
台南、高雄、屏東、花蓮、台東

台北、新北、宜蘭、新
竹、台中、嘉義、台
南、高雄、花蓮、台東

台北、新北、新竹、
台中、台南、花蓮





新管理主義 (new managerialism)

效能(effectiveness)

同じ出力が最大の影響を及ぼします。

效能

3E's

効率

経済(economy)

最小のコストで最も適切なリソースを取得する。

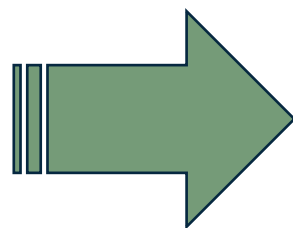
経済

効率(efficiency)

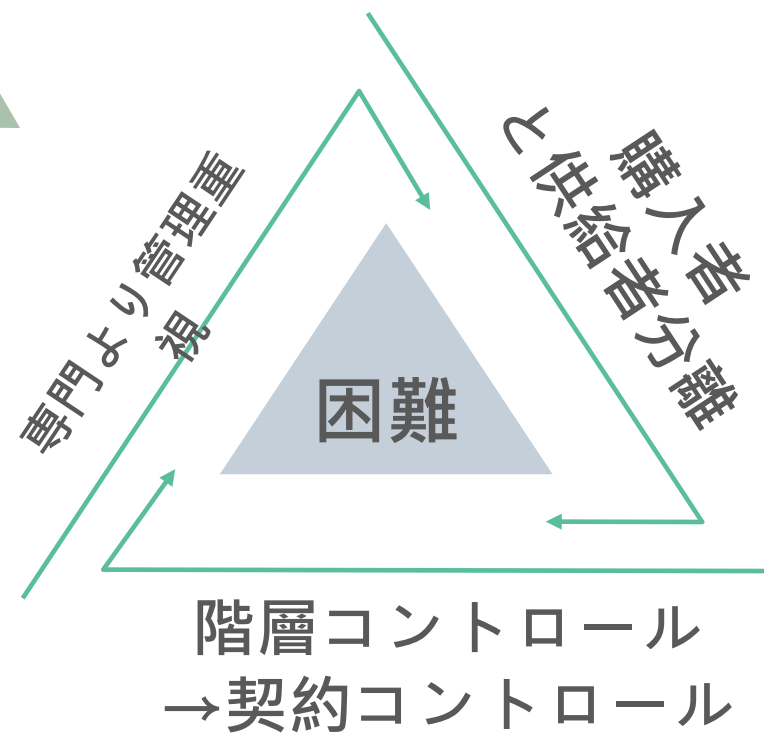
一定量の資源を投資するには、最大の生産力を確保しなければならない。

○ソーシャルワークへの影響：

1. DV被害者は消費者ではなく、顧客である。
2. 組織内で最も重要なポジションは従業員ではなく、管理者である。
3. 従業員は専門家ではなく、ただ雇われた方である。
4. 専門知識より管理知識は主流である。
5. 市場は社会や地域社会ではなく、環境である。
6. 效能より効率を優先する。
7. DV被害者との関係は現金と契約の基礎であり、ケア関係ではない。
8. 品質の良さは標準化や文書化により判断される。



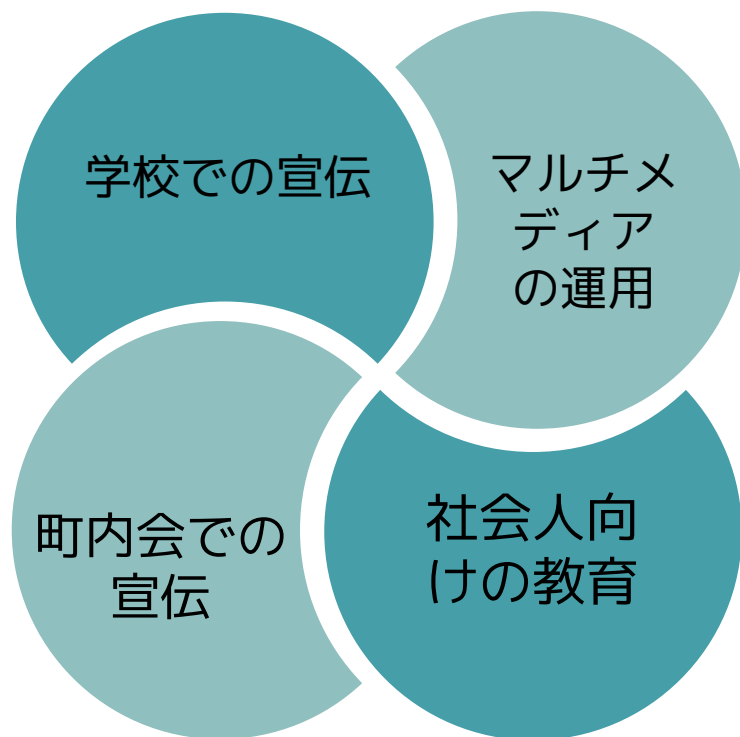
委託案件







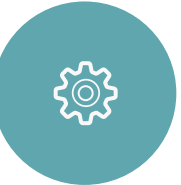


05

DV予防教育



授業計画の概要

-  DVの概念、原因、種類と神話
-  DV処遇：DVを目撃した児童及び少年、加害者など
-  ガーデンオブホープの支援理念とジェンダー・イニシアティブ
-  LGBT DV被害者の処遇
-  DV防止

GOHによる暴力目撃児童支援の関連メディア- 裁判模型



GOHによる暴力目撃児童支援の関連メディア- 絵本《ゾウパパ燃えた》





マルチメディアの運用

児童



100センチの世界(暴力目撃児童)

青年



ポイント恋人
(デートDVをする恋人)

ドア(DV)



大人



片道切符(DV)

家、帰ろう(結婚前教育)



走 回家

幸せのチャンス(結婚前の教育)



完璧な恋人(結婚前の教育)



幸福
的
機
率

衛生福利部推進サイト

<https://www.mohw.gov.tw/lp-44-1-xCat-11.html>



06

その他のDV防止の推進

その他のDV防止の推進

微電影

V-Menマラソン大会

舞台劇《捨蒂》

アートコンテスト

園遊会

※微電影（びでんえい）：インターネットから発信される短い映画です。



衛生福利部保護服務司

Ministry of Health and Welfare

請輸入關鍵字



進階

熱門關鍵字： 武漢肺炎 自主健康管理 防疫補償 醫事人員

關於本司

組織架構

業務職掌

焦點新聞

活動訊息

公告訊息

本部各單位及所屬機關

家庭暴力防治

專題服務區

宣導專區

統計資訊

法規專區

求助資訊

首頁 / 家庭暴力防治 / 宣導專區

宣導專區

• 宣導海報

• 宣導文宣

• 影音專區

• 常見問答

衛生福利部推進サイト

<https://dep.mohw.gov.tw/DOPS/np-1156-105.html>

親密關係DV危險スケールの自己診断チェック表

A 4 - 正面

9.7cm

10cm

10cm

12Q 自我檢測題

請回想一下，過去一年內您與您的親密伴侶是否曾有下列情形：（答是給1分，答否給0分）
提醒您，這並不是考試，沒有對錯的標準，請您依直覺作答）

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 1. 所有的事都由伴侶一方決定，較少有討論的餘地 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 2. 我必須向伴侶交代所有的花費、認識的朋友或行蹤 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 3. 我的伴侶認為我應該以他的需求為優先，處處配合他、迎合他 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 4. 我的伴侶很難溝通，讓我情緒不穩定或覺得麻煩 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 5. 我覺得已經無法再忍受伴侶的某些行為或表現 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 6. 伴侶會說我醜、肥、低能、無用或沒人愛等 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 7. 我們會為了穿著、工作、交友、金錢、孩子、家事、彼此的父母等事情吵架 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 8. 伴侶喝酒或吸毒是我們衝突的原因 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 9. 當我們衝突時，有一方會威脅要破壞東西、傷害自己、傷害對方或對方的家人 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 10. 我們有一方會出手、推或打傷對方 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 11. 我們有一方會在對方極度不願意情況下仍勉強進行性行為 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |
| 12. 我的伴侶會以金錢、孩子或其他方式來控制我 | <input type="checkbox"/> 是 <input type="checkbox"/> 否 |

檢 測 結 果
請 見 背 面

你們是令人稱羨的
神仙伴侶？
還是家庭暴力的
高危險群？

衛生福利部
Ministry of Health and Welfare

親密關係



家庭暴力危機指數自我檢測大調查

透過十二道問題的自我檢測，透視你與伴侶間的親密關係，
紅燈停、綠燈行、黃燈審慎去經營；你來寫，我來填，牽手共築百世情。

親密關係DV危險スケールの自己診断チェック表

A 4 - 反面

10cm



綠燈

0-1分

恭喜您！您與您的親密伴侶目前的關係暫無困擾，不過仍提醒您能夠多關心身邊的親人、朋友或鄰居，如果發現有疑似家庭暴力，包括肢體的衝突、精神上的虐待（包括言語暴力、經濟控制或疏忽等）或性暴力，請協助他們儘快尋求協助，如有需要，可以撥打113婦幼保護專線，或0800013999男性關懷專線。

提醒您

容忍或忽視家庭暴力，將使家庭暴力的傷害持續增加且更為嚴重，甚至危及社區鄰里間的安全，而更多的關懷與即時介入，不但可以降低家庭暴力的傷害，也助於促進社會和諧。

10cm



黃燈

2-5分

請您特別留意，您與親密伴侶的關係已經閃黃燈了，這表示你們之間的關係有一點緊張，也可能已經有一些衝突，如果您對這樣的情況置之不理，問題不但無法解決，甚至可能會繼續惡化，請您儘快與信任的親友或社工人員討論您的問題，如有需要，也可以撥打113婦幼保護專線，或0800013999男性關懷專線，有一群受過相關專業訓練的服務人員，可以與您一起討論您所擔心的衝突問題，或提供您其他資源管道協助您解決問題。

提醒您

親密關係暴力往往都是從一些看似不重要的小事情開始，例如一開始只是雙方認知觀念的差距，導致意見衝突，之後可能一再為相同的事由引發口角，且每次的衝突可能都比前一次更加激烈，最後一發不可收拾，造成暴力與傷害的悲劇。所以請不要輕忽暴力問題可能衍生的嚴重後果，及早處理可以避免暴力問題惡化，未來復原所需的時間比較短，恢復的效果也比較好。

9.7cm



紅燈

6-12分

請您務必注意，您與親密伴侶的關係可能相當緊張且亮起紅燈，衝突也可能一觸即發，顯然您與伴侶間的緊張關係已持續一段時間，彼此對對方都有一些無法容忍的感覺，甚至暴力衝突的狀態已經持續一段時間，這時候請您務必尋求專業的支持來協助您面對這個處境；請您立即撥打113婦幼保護專線，或0800013999男性關懷專線，讓相關專業人員協助您，不論您是需要報警，或是需要醫療、心理諮商、庇護、法律或經濟等其他相關協助，他們也可以幫您轉介給專業的人員，由他們陪伴您一起走過暴力危機，重建生活。

提醒您

1. 伴侶間的衝突很常見，大部分情況很難論誰對誰錯，但是只要使用了暴力（包括語言、肢體或性暴力）來強制對方順從就是不對，您千萬不要以為暴力只是一時的失去理智與控制，相反的，事實上暴力是一種有意識的行為，您的伴侶正透過暴力來控制您的想法或行動。
2. 如果您是家庭暴力的受害者，請您相信暴力的發生並不是您的錯，也不是您造成的，您不需要愧疚隱忍，而且您也不孤單，因為與您一樣遭受暴力的人不少，政府及相關民間團體目前也都很重視您所遭遇的問題，設置專業的社工人員來協助受害者，所以請讓社工陪伴您走出暴力陰影。
3. 如果您是使用暴力的人，請停止暴力行為，因為暴力無法解決您的問題，甚至讓問題變得更糟。您可以找個信任的人一起討論問題，或撥打113婦幼保護專線，或0800013999男性關懷專線，藉由認識家庭暴力的本質，學習適當的方法與伴侶相處，相信您也可以脫離暴力的陰影。

LGBT親密關係におけるDV防止推進-ネクストストップ、虹

求助是終止暴力的開始！

當同志朋友面對最親密的人對自己暴力相向時，心中的痛是難以言喻。更痛的是，心中的痛無法和人說。當面臨親密暴力時，覺得「求助也沒有用」及「擔心二次傷害」是同志朋友在面臨親密暴力時不願向正式體系求助的兩大原因。

我們認為，在臺灣同志伴侶關係尚未有法律認可，但當同志朋友遇到親密暴力時，不該是個「不能說秘密」，更不只是『兩個人的事情』。

若當您發現很在意這段關係，但自己會使用暴力發洩情緒，您也可以尋求相關資源協助，選擇新的方式面對關係，為關係找到新的出路。

113保護專線

提供民眾24小時全年無休之電話諮詢及通報服務，並有英語、印尼語、越南語、泰國語、柬埔寨語等多國語言通譯，傳遞保護工作無國界之服務理念。

社團法人臺灣同志諮詢熱線協會
02-2392-1970、07-2811-823

衛生福利部 監製

下 站

彩虹

NEXT STOP
RAINBOW

遇到親密暴力不該是個不能說秘密，
不論關係要如何走下去，
終止暴力是我們一致的目標，
您值得更多專業資源協助。

LGBT親密關係におけるDV防止推進-ネクストストップ、虹

迷思解惑篇

- 家庭暴力防治法已於民國96年納入保障同居同志伴侶之間的親密暴力。不論是正在進行或曾經交往，只要是同居伴侶都在家暴法的保障範圍內。
- 暴力不只是拳腳相向，還包括強迫出櫃、言語辱罵、限制交友、情感威脅、強迫性行為……等。
- 求助不等於出櫃或離開關係，您是自己的主人，有權力決定與誰出櫃及關係的走向。
- 您的求助資料都會予以保密，打電話求助並不會讓您因此出櫃，您可以選擇用匿名詢問資訊。
- 求助113或其他正式機構不代表會進入司法體系。

◆ ◆ ◆
NEXT STOP
RAINBOW

下
站
彩虹

什麼是親密暴力？

- **身體暴力**：對伴侶的身體部位端、打、踢、拋、咬、捏、拉……等。
- **精神暴力**：精神暴力是以對方感受為出發，若對方覺得不舒服時，就是精神暴力。如：限制交友、監控行動、侵犯隱私、粗俗不堪語言辱罵、威脅出櫃、寵物威脅不能離開關係、自殘、自殺挽留關係等。
- **經濟暴力**：無法按照自己的意思處理自己的財務，伴侶要求依照他的方式處理財務。如：當財務狀況不佳時，強迫對方去借錢。
- **性暴力**：違反伴侶的意願，強迫與對方發生性關係。

求助篇

- **求助「110」**：正在暴力發生當下，請撥打110報案，但需要有出櫃的心理。
 - **求助「119」**：您的伴侶有自傷、自殘狀況，請撥打119。
 - **求助「113」**：介紹家庭暴力相關資源、轉介後續長期服務的社工單位。若您有意願尋求心理諮商協助，也可向社工表達。
 - **求助您信人的親友**：當您最近與伴侶關係很緊張，請讓您信任的朋友或家人知道。
- 若您在情境中，與伴侶有激烈爭吵，感覺自己快無法控制情緒，狀況一觸即發時，可以怎麼做？**

- **第一步**：深呼吸（在心中數1-10），讓自己心情較平靜。
- **第二步**：若可以請立刻離開現場，現在並不是談話的好時機，和對方說明，自己需要一些冷靜的時間，並約定時間再回來談。回想自己在過去激烈爭吵時，曾發生過的「衝動」言語對關係的影響。
- **第三步**：宣洩您心中不滿的情緒，紓解的方式包括運動、聽音樂、大哭一場、與三五好友聊天…等。
- **第四步**：當情緒較平靜之後，思考詢問自己生氣的原因，釐清自己的狀態、在意的事情為何。
- **第五步**：做一個新的決定，告訴自己：您現在可以停下來，停止傷害自己及對方，只需向對方表達您的感受及想法。

尾行されましたか？ 親密関係者に尾行された際に私たちできること

如果您被親密伴侶跟蹤了， 您可能會...

- v 害怕，不知道他／她下一步會做什麼。
- v 覺得沒有安全感，不知道可以信任誰。
- v 焦慮、暴躁易怒，失去耐心，感到自己已經瀕臨崩潰邊緣。
- v 沮喪、覺得自己沒有希望、覺得自己被擊潰、愛哭、憤怒。
- v 覺得自己壓力很大，注意力無法集中、有睡眠障礙、記憶力出狀況。
- v 出現飲食失調症狀，像是沒胃口、厭食或是暴飲暴食。
- v 反覆出現讓您痛苦的想法、念頭、感受或記憶。
- v 因為其他人不了解您的恐懼，而感到混亂、挫折、孤單。

遭到親密伴侶跟蹤而有上述反應是很正常的，您不需因此自責或懷疑自己生病了。若您需要協助，您可撥打**113**或向各直轄市、縣（市）政府家庭暴力及性侵害防治中心進行諮詢。

我們可以幫助您 **113 保護專線**

各縣市家庭暴力暨性侵害防治中心

臺北市家庭暴力暨性侵害防治中心 (02)2396-1996
新北市政府家庭暴力及性侵害防治中心 (02)8965-3359
臺中市家庭暴力暨性侵害防治中心 (04)22289111 分機 38800
臺南市家庭暴力暨性侵害防治中心 (06)2988995
高雄市政府社會局家庭暴力及性侵害防治中心 (07)5355920
桃園縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (03)3322111
新竹市家庭暴力暨性侵害防治中心 (03)5216121 分機 406
新竹縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (03)5518101 分機 3146
苗栗縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (037)320-135
南投縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (049)224-7970
彰化縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (04)725-2566 # 11
雲林縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (05)534-0466
嘉義市家庭暴力暨性侵害防治中心 (05)2254321 分機 155、121
嘉義縣家庭暴力及性侵害防治中心 (05)3620900 分機 219
屏東縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (08)735-1560
基隆市家庭暴力暨性侵害防治中心 (02)24201122 分機 2205
宜蘭縣政府家庭暴力暨性侵害防治中心 (03)9328822
花蓮縣家庭暴力及性侵害防治中心 (03)822-4523
臺東縣家庭暴力及性侵害防治中心 (089)320-172
金門縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (082)322-897
澎湖縣家庭暴力及性侵害防治中心 (06)9274400 分機 533
連江縣家庭暴力暨性侵害防治中心 (0836)22381 分機 23-28

有緊急危險請撥 **110**



衛生福利部
Ministry of Health and Welfare

你被跟蹤了嗎？

反親密伴侶跟蹤教戰守則

廣告

尾行されましたか？ 親密関係者に尾行された際に私たちできること

小心！您被親密伴侶 跟蹤了嗎？

如果您的伴侶、前伴侶、男女朋友或前男女朋友，對您或您的親友持續有以下行動，並造成您的困擾或感到被打擾，甚至覺得安全遭到威脅時，**小心！您已經被跟蹤！**

- 以步行或開車等方式尾隨您。
- 停留或徘徊在您或您親友的住家、學校、工作地點、社交場所等，監視您的行動。
- 非正常地密集打電話、傳簡訊、email 等任何傳播通訊方式給您或您的親友、同事，企圖掌控您的行蹤與活動。
- 刻意出現在您的週遭、或是不斷利用各種方式來接近您。
- 使用科技設備，例如：隱藏式攝影機或全球衛星定位設備，監看您的行蹤。
- 監看您網路使用、網路信箱、帳號、通訊紀錄等。
- 請他人代為跟蹤監視，以得知您的行蹤。
- 侵入您的住所或汽車，破壞您的財產、物品等。
- 在您的住所、公司、或汽車...留下物品、信件或各式留言，讓您知道他在注意您。
- 透過各種方式掌握您或您親友的財務、通聯、健保、戶籍、車籍等資料。

反親密伴侶跟蹤小撇步

撇步 1：相信自己的直覺，發現有危險之虞，馬上撥打 110 求助，並盡快至人多的場所，或至派出所、便利商店...等向他人求助。

撇步 2：改變日常生活作息

- 改變生活作息、更換慣常的交通路線與工具，並隨身帶著警報器、噴霧劑或口哨等防身器材。
- 行走在有監視器的大馬路或街道，或週邊會裝設監視器的場所。
- 避免落單，請同事、同學、親友、家人陪同或協助接送上下班或上下學。
- 必要時得換住家鑰匙、搬家、換車、換電話號碼。
- 變更各項帳單之通訊地址，並避免以居住地址為帳單寄送地址。
- 與子女討論各種安全計畫，避免對方以子女作為跟蹤或監視您之工具。

撇步 3：經常更換電腦、社交網站（如：Facebook、Plurk、微博等）、MSN、部落格之帳號密碼，避免遭親密伴侶侵入及盜用。

撇步 4：不要隨時在社交網站上打卡、發佈照片或動態訊息，並記得關閉汽車或任何 3C 產品之導航系統，以避免行蹤暴露。

撇步 5：避免使用親密伴侶贈送的手機、汽車、導航設備等，以避免遭到竊聽、定位或監視；若擔心已被監控，可請車廠或專業人員協助檢查。

撇步 6：蒐集對方跟蹤的各項證據

- 保存對方跟蹤的證據並拍照存證：包括對方跟蹤騷擾的電郵、簡訊、語音留言、信件、紙條、禮物、遭對方破壞的財物等等。
- 利用手機、錄音筆、行車紀錄器或其他科技設備錄音、錄影蒐證。

撇步 7：詳細記錄對方跟蹤、監控和騷擾的日期、時間、地點、方式，造成那些損害，自己的感受等，做為佐證。

撇步 8：告知親友、同事、老闆或師長自己被跟蹤或騷擾需要協助。

- 在住家、公司、學校前裝設監視器及加強門禁。
- 提供對方照片予大樓管理員、保全人員知悉，並商討各項防範措施。
- 請主管調整職務內容（如：由外場改為內場）或工作地點。
- 請同事或公司總機協助過濾電話。
- 避免與同事、親友、同學講述變更後之居住地址，必須告知時，請他們務必保密。

撇步 9：打 113 或向各直轄市、縣（市）政府家庭暴力及性侵害防治中心諮詢或求助。

撇步 10：如果他 / 她的跟蹤行為已對您造成困擾，甚至讓您感到害怕，您可聲請保護令，禁止對方對您或子女之跟蹤、騷擾。



07

DV予防の成果と支援の発展

DV防止効果

DV被害支援を求める時間は短縮

支援を求めるDV被害者の年齢層が下がったことと被害者が耐え忍ぶ時間が短くなったことから見ると、人々がDV予防の概念を持つようになり、早期に政府に支援を求めたり、通報したりすることができたことがわかった。

保護対象の拡大

LGBTやDV目撃児童、16歳以上で加害者と同棲していない少年、外国配偶者、男性被害者、高齢被害者などの被害者の保護サービスを提供し始めた。

01

02

通報件数は毎年増加傾向

DV法は1998年に公布し、施行された。衛生福利部（厚生省）の統計によると、DV法の施行から20年間で、DVの通報件数は、1998年の約**9,000件**から、2008年の**84,195件**、そして2019年の**160,944件**となり、年々増加している。

予防
効果

04

03

保護命令の発行数も毎年増加傾向

保護命令の発行数も年々増加傾向にあり、国民はDV概念を認識し、より意識的に公権力や社会福祉の支援を求めていることがわかった。

DV支援の変化

相対者 (respondent)

- 2001年-検察官は、飭回（釈放）と「交保」（保釈）の加害者に関する連絡メカニズムを確立した。
- 2004年-男性無料電話相談窓口を設置した「0800-013-999」
- 2008年-相対者DV予防プロジェクトを推進する
- 2016年-《DV加害者処遇プログラム規範》を改正する

住宅支援

- 緊急短期→中長期→公営住宅
- 多様なシェルターを提供する
- 多様なシェルターを立ち上げることを推進する。また、レベルごとに分け、被害者に適切なシェルターを提供することを推進したり、執行したりする。
- シェルターリソースのコミュニティ化を促進する。
- 文化と性的少数者に配慮した支援を提供する。

就労支援

- 過去には資源が主に緊急対応に集中しており、生活の立て直しに関する支援を提供することになった。

LGBT

- ガーデンオブホープは、ジェンダーに基づくDV被害者の多くが、性別、年齢、状態、身体的および精神的状態など理由で差別を受け、身体的および精神的な病気を引き起こし、生存権に影響を及ぼし、助けを求めるすらできなくなることがわかった。
- 2019年にガーデンオブホープは、LGBTによる差別されたDV被害者を支援するため、「LGBT差別DV防止センター」を設立し、LGBT被害者にとってより豊富な支援を提供する。

DV目撃児童・少年

- 2015年に、DV法が改正され、暴力を目撃した児童がサービス対象になり、児童の処遇が変化した。
 1. DV目撃児童・少年の支援を改善する。
 2. DV目撃児童・少年向けの支援システムを設置する。
 3. DV目撃児童・少年に対する支援は細かく分業化されたことにより、業務範囲が明確になった。
 4. DV目撃児童にワンストップサービスを提供する。



ガーデンオブホープ住宅（自立寮）とDV目撃児童への支援の経験談

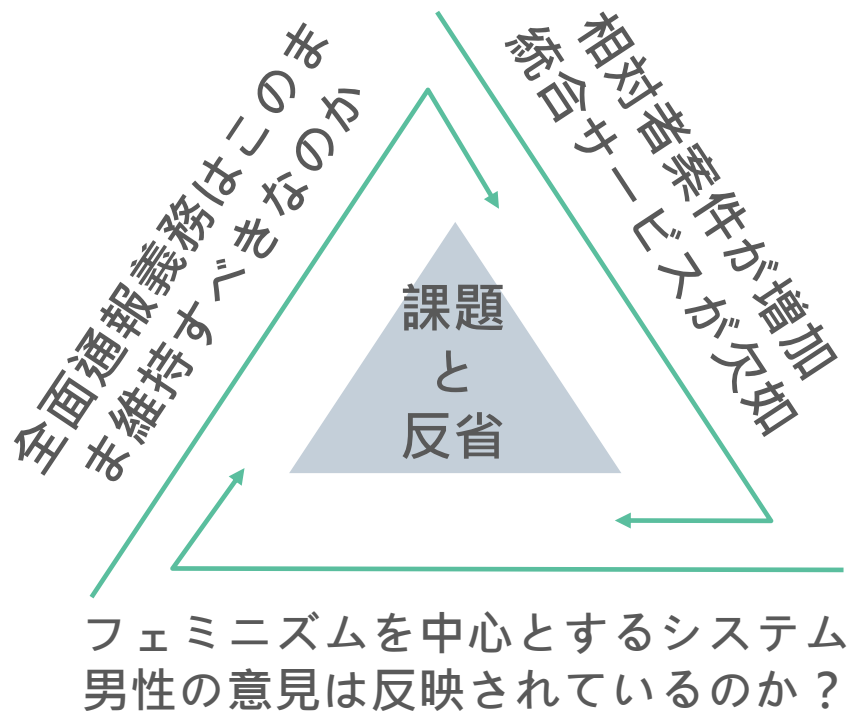
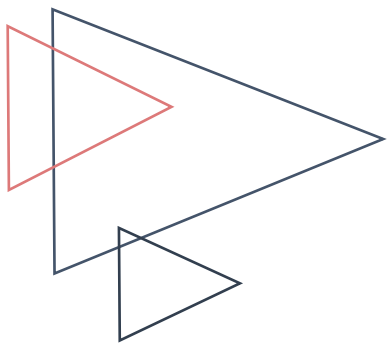




08

課題と今後の展望

課題と今後の展望



ジェンダーに基づく暴力のための全体的な行動計画を確立する

社会教育

社会の態度や価値観を変える

全体計画

暴力終結

社会におけるジェンダーに基づく暴力と性的暴力を終わらせる

ジェンダーに配慮した社会を構築する

